



育てるあおみっ子の姿

自尊感情が高く、自己有用感を覚える子

加茂小のミッションと教育活動の重点

○きめ細かな点検と改善で、指導の成果を向上させます。
・内容の定着状況を点検して指導を改善し、効果を向上させます。

○指導の一体感で、指導の成果を向上させます。
・全職員が、同じ価値観と指導観で教育活動に取り組みます。

○内発的動機付けで、子どもの自発性を育てます。
・子どもの「やってみたい」を大切にして成功体験を促します。



〒959-1326 加茂市青海町1丁目1番5号

TEL 0256-52-0171

FAX 0256-52-1743

k-kamoj □ educet.plala.or.jp

加茂市子どもへの期待像

～豊かな心でたくましく実践する子ども～

- ・他者の痛みが分かる心
- ・美しいものに感動する心
- ・困難や失敗、苦しみにくじけない粘り強さ

【自己有用感】

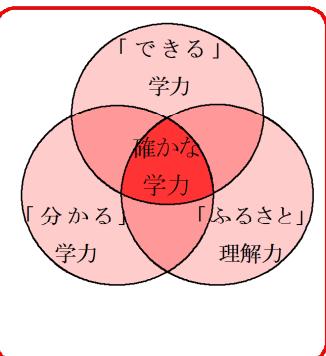
- 友だちとの関係の中で、自分を価値あるものとして受け止める感覚
- ・存在：友だちとの関係の中で、自分は価値のある存在だという実感
- ・承認：友だちから、自分の行動や存在が認められていると感じる状況
- ・貢献：友だちに対して、自分が役に立つ行動をしていると感じる状況

【自尊感情】

- 自分を価値あるものとする感覚
- 自分自身を好きだという気持ち
- 自分を大切に思える気持ち

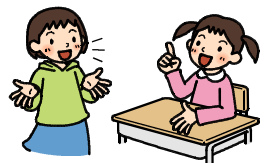
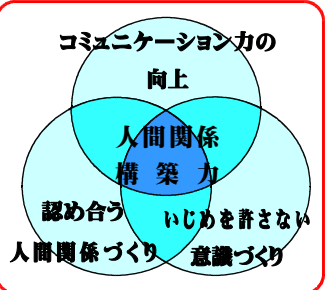
成功体験のために

努力事項と成果



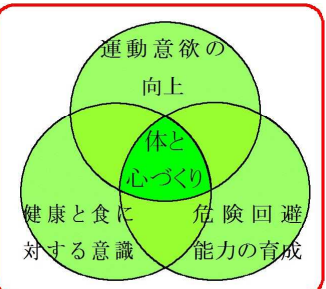
- 「分かった」「できた」と自尊感情をもち、「自分の考えがみんなの役に立った」という学習経験を大切にします。
- 「ふるさと資料室」やキャリアカウンセリングを充実させます。
- みんなで学習規律を大切にします。

- 1 「できる学力」が身に付くようにする（基礎的・基本的な知識・技能の習得）
 - 「音読発表会」などで国語の教材文の音読に取り組ませ、読み取る力と表現する意欲を育てます。
 - 学習規律を大切にす授業を推進します。
 - ・音読を頑張ったと回答する児童 80% (H29:78%)
 - ・授業が分かったと回答する児童 90% (H29:92%)
 - ・家庭学習で学年の目標時間を上回る児童 90% (H29:89%)
- 2 「分かる学力」が身に付くようにする（思考力・判断力・表現力の育成）
 - 授業で言語活動を充実させ、考える力、表現する力、友だちの考えを理解しようとする力を伸ばします。
 - Web配信問題を活用し複数解を生む問題づくりに取り組み書く活動を取り入れた振り返りを行います。
 - ・「友達と話し合うことにより、新しい考えをもったり、考えを深められたりした」と回答する児童 85%
 - ・Web配信問題において、結果が県平均を上回る 70% (H29:65%)
- 3 「加茂のよさ」を理解できるようにし、キャリア教育を推進する（探究する力の育成）
 - 加茂小ふるさとデータベースを充実させます。
 - ・「加茂のひと・もの・ことのよいところを見付け、将来の夢がもてた」と回答する児童 85% (H29:80%)



- 「あいさつでできた」「あいさつされた」と「自分は大切にされている」を感じさせて、自尊感情を育みます。
- 友だちとの関わりの場を設定して、自分と友だちのよさに気付かせます。
- 委員会活動などの子どもの自主的な活動の中で「こんな理由があってもいじめはいけない」という認識を育みます。

- 1 コミュニケーション力を向上させる
 - 「ふわふわ言葉」と「あいさつ」で、コミュニケーションスキルを身に付けさせます。
 - ・『ふわふわ言葉』で話している」と回答する児童 90% (H29:90%)
 - ・「クラスや地域で進んで挨拶をしている。」と回答する児童 80%
- 2 認め合う人間関係づくりを推進する
 - 自分と友だちのよさを認め合える場面をつくれます。
 - 「友だちとかかわり方や気持ちを考えるソーシャルスキルトレーニング」、「友だちのよさや自分を見つめるエンカウンター」を充実させます。
 - 相手への対応の仕方をロールプレイを取り入れ学習します。(低学年中心)
 - ・「自分のよいところを見付けてもらえてうれしかった」と回答する児童 90% (H29:89%)
- 3 いじめを許さない意識づくり
 - 定期的なアンケートで、いじめの実態と子どものいじめに対する考え方を点検して指導します。
 - ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と回答する児童 100% (H29:98%)
 - ・「いじめを許さない環境づくりのため、道徳授業やSST、SGEを行っている」と回答する職員 100% (H29:100%)



- 「自分から運動する場」とそれを「賞賛する場」を設定します。
- ハンカチの携帯と使用の意義を指導して、健康に対する意識を高めます。
- 防災教育プログラムや避難訓練を通して、避難スキルと安全な身支度を定着させます。

- 1 運動意欲を向上させる
 - 運動に取り組んだことを友だちに認められる体験をさせます。
 - ・「進んで身体を動かしている」と回答する児童 85% (H29:85%)
- 2 健康と食に対する意識を向上させる
 - バランスの考えられた朝食を食べる活動を推進します。
 - メディアコントロール等の取組を通して健康な生活習慣を身に付けることができるようになります。
 - 7時間以上の睡眠を推進します。
 - 給食を作った方に感謝の気持ちをもてるようにします。
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯」に取り組んでいると回答する保護者 80% (H29:70%)
 - ・「家庭でのメディアに関わる時間を2時間以内にしている」と回答する児童 80% (H29:76%)
 - ・「ハンカチを携帯し、使用している」と回答する児童 85%
 - ・「給食を作った方への感謝の気持ちを表現している」と回答する児童 95% (H29:95%)
- 3 危険回避能力を育む
 - 災害を想定して廊下歩行や靴のはき方などについて考えさせます。
 - 登下校や家での遊びにおいて、交通安全に気を付けるようにします。
 - ・「廊下歩行に気を付けている」と回答する児童 90% (H29:87%)
 - ・「交差点や横断歩道で車に注意し、手を挙げて渡ります」と回答する児童 100%